

7 月定例治験審査委員会記録

日 時:平成 22 年 7 月 8 日(木)16:00~16:20

場 所:関西医大枚方病院 1 階 第 1 会議室

出席者:森本副委員長,山本,高橋,安田,宇都宮,中村,稲田,浦川,廣田各委員

議 題:

1. 治験の新規申請について

①(株)三和化学研究所の依頼による SK-0503 の第Ⅱ/Ⅲ相試験(22-1)

これまでに得られている非臨床試験,第Ⅰ/Ⅱ相試験成績に基づき,治験実施の妥当性について審議した。

審議結果:承認

2. 契約内容変更について

(A)治験分担医師の変更

①アボット ジャパン(株)の依頼によるアダリムマブ(D2E7)の第Ⅱ相試験(20-8)

人事異動に伴う治験分担医師の追加について,適格性の観点から審議した。

審議結果:承認

3. 実施計画の変更について

①アボット ジャパン(株)の依頼によるアダリムマブ(D2E7)の第Ⅱ相試験(20-8)

- ・治験薬概要書の改訂(第 10 版→第 11 版)
- ・治験薬概要書補遺の改訂(第 10 版→第 11 版)
- ・同意説明文書の改訂(第 5 版→第 6 版)

治験実施計画書,治験薬概要書補遺及び同意説明文書の改訂について,引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

②参天製薬(株)の依頼による DE-109(シロリムス)の第Ⅰ/Ⅱ相試験(21-4)

- ・治験薬概要書の改訂(第 2 版→第 3 版)

治験薬概要書の改訂の改訂について,引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

③大鵬薬品工業(株)の依頼による肝癌患者を対象とした S-1 の第Ⅲ相試験(21-5)

- ・治験薬概要書の改訂

(第 13 版→Global Investigator's Brochure for S-1 Version1.0 和訳版)

治験薬概要書の改訂の改訂について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

④フェリング・ファーマ(株)の依頼による夜尿症患者を対象とした FE992026 の第Ⅲ相試験 (21-7)

・治験薬概要書の改訂(第4版→第5版)

治験薬概要書の改訂の改訂について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

4. 治験の有害事象報告について

(A)本院における有害事象

①株式会社ヤクルト本社の依頼による既存治療+L-OHP(オキサリプラチン)の第Ⅱ相試験 (20-5)

本院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：「安全性に留意して治験を継続すること」が妥当と判断し治験継続が了承された。

(B)他施設、海外における有害事象(定期報告)

①塩野義製薬(株)の依頼による小児領域感染症に対する S-4661(ドリペネム水和物)の第Ⅲ相試験(19-3)

安全性情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：「安全性に留意して治験を継続すること」が妥当と判断し治験継続が了承された。

②協和発酵キリン(株)の依頼による血小板減少性紫斑病患者を対象とした AMG531 の長期第Ⅲ相試験(19-4)

安全性情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：「安全性に留意して治験を継続すること」が妥当と判断し治験継続が了承された。

③中外製薬(株)の依頼による乳癌患者を対象としたカペシタビンとドセタキセルの第Ⅲ相試験 (20-1)

安全性情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：「安全性に留意して治験を継続すること」が妥当と判断し治験継続が了承された。

④バイエル薬品(株)の依頼による加齢黄斑変性症を対象とした VEGF Trap-Eye の第Ⅲ相試験 (20-3)

安全性情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:「安全性に留意して治験を継続すること」が妥当と判断し治験継続が了承された。

⑥アボット製薬(株)の依頼による腭液分泌不全患者を対象とした SA-001 の長期第Ⅲ相試験(20-7)

安全性情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:「安全性に留意して治験を継続すること」が妥当と判断し治験継続が了承された。

⑦武田薬品工業(株)の依頼による TAK-442 の第Ⅱ相試験(21-2)

安全性情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:「安全性に留意して治験を継続すること」が妥当と判断し治験継続が了承された。

⑧参天製薬(株)の依頼による DE-109(シロリムス)の第Ⅰ/Ⅱ相試験(21-4)

安全性情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:「安全性に留意して治験を継続すること」が妥当と判断し治験継続が了承された。

⑨大鵬薬品工業(株)の依頼による肝癌患者を対象とした S-1 の第Ⅲ相試験(21-5)

安全性情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:「安全性に留意して治験を継続すること」が妥当と判断し治験継続が了承された。

⑩ノバルティス ファーマ(株)の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象としたラニビズマブ(RFB002)の第Ⅲ相試験(21-6)

安全性情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:「安全性に留意して治験を継続すること」が妥当と判断し治験継続が了承された。

⑪フェリング・ファーマ(株)の依頼による夜尿症患者を対象とした FE992026 の第Ⅲ相試験(21-7)

安全性情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:「安全性に留意して治験を継続すること」が妥当と判断し治験継続が了承された。

報告:

1. 治験の資料改訂などについて

①塩野義製薬(株)の依頼による小児領域感染症に対する S-4661(ドリペネム水和物)の第Ⅲ相試験(19-3)

②大鵬薬品工業(株)の依頼による肝癌患者を対象とした S-1 の第Ⅲ相試験(21-5)

以上いずれも改訂内容が軽微であるため、審議に至らず報告にとどめられた。